

# NEWS RELEASE [www.jogmec.go.jp](http://www.jogmec.go.jp)



独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

問合せ先： 石炭開発部石炭技術課 一戸 TEL:03-6758-8002  
広報担当： 総務部広報課 乾 TEL:03-6758-8106

## 平成 28 年度産炭国石炭採掘・保安技術高度化事業(国内受入研修)の 閉講式(中国)

JOGMEC(本部:東京都港区、理事長:黒木啓介)は、11月16日(水)、北海道釧路市所在の炭鉱技術研修センターにおいて中国研修生の閉講式を開催しました。

本研修は、アジア地域の産炭国から保安監督者や炭鉱技術者を研修生として受け入れ、我が国の石炭採掘・保安技術を移転することによって、我が国への安定的な石炭供給を確保することを目的としています。

今回研修を修了したのは、去る10月18日(火)に来日した中国・国家安全生産監督管理総局の監察員、炭鉱企業の幹部職員等 18 名で、炭鉱技術研修センターにおいて、坑内採掘・保安技術や保安監督行政等の課程を受講しました。

閉講式では、研修生を代表して、国家煤鉱安全監察局科技装備司処長の陳 東科氏より「中国と日本には炭鉱の稼行条件や法制度等に相違があるが、生産現場の安全と従業員の幸福が石炭産業の持続的発展の前提であることに変わりはない。今般の研修は、日本の炭鉱の経験・技術・保安理念を学んだ他、釧路市民との交流等、日本の文化・習慣や北海道の自然に親しむことが出来た。帰国後は、研修成果を各自の職場で大いに活かし、中国石炭産業の保安向上に役立てていきたい。」との抱負が述べられました。

なお、今回研修課程を修了した 18 名を含め、今年度は中国より 3 期計 54 名の研修生を受け入れ、今回閉講式を持って、平成 28 年度分の中国からの受入事業を無事終了しました。

JOGMEC は今後も本研修をとおして、産炭国の石炭坑内採掘・保安技術の向上に貢献するとともに、我が国への安定的な石炭資源の供給確保に努めてまいります。



研修生代表・陳 東科氏の挨拶



中国研修生一同(保安監督管理コース 8名)



中国研修生一同(保安理念向上コース 10名)